

バランスシートを公表します

1. バランスシートとは？

これまでの町の決算は1年間の現金の収入支出の結果を表したものであり、長期にわたる財政状況を表したものではありませんでした。

そのため、本町では昭和44年度から平成18年度までの財政運営の結果として蓄積された資産状況やその調達財源の状況を総括的に把握することのできる貸借対照表(以下「バランスシート」という。)を作成しました。

2. バランスシートの作成基準は？

総務省が示した全国統一的な作成基準(総務省方式)により作成しました。

3. バランスシートの内容は？

蓄積された財産状況を示す借方(資産の部)と、資産を取得する際のお金の調達状況を示す貸方(負債・正味資産の部)に分別されます。

(1)借方(資産の部)

有形固定資産	道路、建物、土地などの財産の総額 (土地以外は減価償却して計上します。)
投資等	自治体に関する団体等へ出資・貸付金や特定の目的のために運用されている基金などの総額
流動資産	流動性の高い財政調整基金などの基金、決算時の歳入歳出の差額、町税等の未収金の総額

(2)貸方

負債の部

固定負債	資産を取得する際に借り入れた負債のうち、翌年度以降に返済する元金などの総額
流動負債	資産を取得する際に借り入れた負債のうち、翌年度に返済する元金などの総額

正味資産の部

国庫・県支出金	有形固定資産を取得する際の国や県からの補助金 (有形固定資産と同様に減価償却して計上します。)
一般財源等	資産を取得する際の国や県からの補助金以外の歳入 (町民税や地方交付税などの財源)

4. 本町のバランスシート

本町の借方(資産の部)及び貸方(負債・正味資産の部)ともに、総額は342億9722万9千円になります。昨年度と比較すると、3億8906万7千円の減になります。

借方(資産の部)	貸方(負債・正味資産の部)
有形固定資産 90.3% 309億5958万円	負債 37.1% 127億1740万円
投資等 4.5% 15億5809万6千円	
流動資産 5.2% 17億7955万3千円	正味資産 62.9% 215億7981万9千円
合計 342億9722万9千円	

(1) 資産の部

有形固定資産の総額は、309億5958万円になります。資産の部全体の90.3%を占めています。昨年度と比較すると、3億2484万1千円の減になります。内訳別に見ると、減額した主な項目は、総務費及び農林整備費で、減価償却によるものです。増額した主な項目は、土木費及び教育費で、町営岩間団地立替事業及び市川中学校大規模改造事業によるものです。

次に、投資等の総額は、15億5809万6千円になります。資産の部全体の4.5%を占めています。昨年度と比較すると、4430万7千円の減になります。減額した主な項目は、退職手当組合積立金で、職員数の減によるものです。

最後に、流動資産の総額は、17億7955万3千円になります。資産の部全体の5.2%を占めています。昨年度と比較すると、1991万9千円の減になります。現金・預貯金が減額した一方で、未収金が増額しています。町では徴収対策本部を設置し、未収金について徴収強化を図っており、今後も推進していきます。

(2) 負債・正味資産の部

負債の総額は、127億1740万円になります。負債・正味資産の部全体の37.1%を占めています。昨年度と比較すると、2億4400万4千円の増になります。地方債と翌年度償還予定額の地方債残高が増額しています。地方債の繰上償還や事務事業の見直しによる地方債発行額の抑制を図るなど、地方債残高の削減を進めていきます。

正味資産の部の総額は、215億7981万9千円になります。負債・正味資産の部全体の62.9%を占めています。昨年度と比較すると、6億3307万1千円の減になります。資産の部が減額し、負債の部が増額した結果によるものです。

(3) 町民1人あたりでは？

町民1人あたりに換算しますと、車や不動産などの資産にあたる有形固定資産が167万1684円、株式などの投資にあたる投資等が8万4131円、貯金・現金や貸付にあたる流動資産が9万6089円になります。これらの資産を所有するために、借り入れたお金にあたる負債が68万6685円、ご自分の資金や親などからの支援にあたる正味資産が116万5219円になります。合計185万1904円となります。

借方(資産の部)	貸方(負債・正味資産の部)
有形固定資産 90.3% 167万1684円	負債 37.1% 68万6685円
投資等 4.5% 8万4131円	
流動資産 5.2% 9万6089円	正味資産 62.9% 116万5219円
合計 185万1904円	